

カルチャー

シニア

シネマ

学ぶ・遊ぶ

ロシア名曲 深み追求

仙台ニューフィル第65回定演

仙台ニューフィルハーモニー管弦楽団の第65回定期演奏会が15日、仙台市青葉区の東京エレクトロンホール宮城で開かれる。同楽団と最も関係の深い指揮者である末広誠さんを迎え、ロシアの名曲を演奏する。

曲目はムソルグスキー「はげ山の一夜」、ストラヴィンスキー「火の鳥」組曲(1919年版)、チャイコフスキー「交響曲第5番」。帝政ロシア時代に生まれた作品で統一、「ロシアの至宝」のタイトルを掲げた。

同楽団と末広さんの初共演は1991年。創立から18年たち、レベルアップを図る

うと初めて外部から招いた指揮者が末広さんだった。末広さんはオーケストラの基本から指導し、楽団を大きく成長させた。共演は今回が14回目。これまでマーラーの「交響曲第9番」などにも挑戦してきた。

末広さんは「誰もが知っている名曲だけにプラスアルファが求められる。楽団



定期演奏会に向け練習する仙台ニューフィルハーモニー管弦楽団

員の音楽への理解力は高まっており、一層の深みを追求したい」と話している。

午後2時半開演。入場料

は一般1000円、高校生以下500円。連絡先は仙台ニューフィル事務局022(375)

9654。